

記録による但馬の甲虫相

(兵庫県甲虫相資料・353)

高橋 寿郎

はじめに

筆者は最近兵庫県の甲虫相のまとめに着手しており、西播磨の甲虫相(兵庫生物Vol.10, No.5 : 179-181, 1994)、東播磨の甲虫相(1)(2)(きべりはむしVol.21, No.2, pp.37-43, 1993, Vol.22, No.1, pp.7-8, 1994)、六甲山系を中心とした神戸ならびにその近傍の甲虫相(きべりはむしVol.22, No.2 : 35-45, 1994)とまとめて、現在音水・赤西溪谷(宍粟郡)の甲虫相のまとめに入っている。ところで但馬地方は筆者自身も、氷ノ山の6回の調査をはじめとして、他にも数地点での調査を何回かやってきているが、なんとといっても但馬むしの会の諸氏による調査が詳しく行われている。ただ全体のまとめといったものがないように思われるので、筆者が所有する文献で記録されている但馬の甲虫類をまとめてみた。何らかの参考になればと思っている。

本文を草するにあたり、多くの方々の御協力、御教示を得ている。いちいち御芳名は記さないが、厚く御礼を申し上げさせて頂く。

但馬における甲虫相の研究史

但馬の甲虫相の研究史を、筆者が所有する文献によって眺めてみる。何分にも個人の所有する文献であるから、多くの重要なものが脱落しているのではないかと心配している。皆様の御教示を頂くことができれば幸いである。

なお、文献の番号は便宜的につけたものである。内容の説明はできるだけ簡単にしよう心がけた。*印をつけたものは、直接見ることができなかった文献である。

1. 北村達明(1937)兵庫県出石郡神美村で採集した蝶とコガネムシ。昆虫界5(43) : 634-636。

これが但馬地域での甲虫に関する報文としては最も古いものではないかと考えられる。神美村という地名が現在のどこを指すのかを調べたが、よく分からなかった。どなたか御存知の方があれば御教示頂きたい。コガネムシ類29種が和名で示され、若干の説明がついている種もある。一応普通に見られるもので同定の問

題はないと考えられる。ただ、26.キンイロセンチコガネとあるのは、オオセンチコガネのことと思われる。

2. 関公一(1941)兵庫県産の天牛科甲虫。昆虫界9(89) : 447-456。

本報文で、産地に“北部山地、某地(採集者の希望により公表せず)”とある種が7種ある。これらはいずれも氷ノ山産のものであり、採集者は黒佐(谷口)和義博士であることを、筆者は執筆者である関氏から直接伺った。その7種とは、コバネカミキリ、トラフハナカミキリ(=トラフホソバネカミキリ)、ルリボシカミキリ、フタオビミドリトラカミキリ、アサカミキリ、ハンノオオルリカミキリ(=ハンノアオカミキリ)、ヨツキボシカミキリである。

3. Iga, M. (1949) On the genus *Stigmatium* Gray (1832) of Japan, with description of a new species (Coleoptera : Cleridae). Ent. Rev. Japan 1(2) : 36-38。

P.37に*Stigmatium pilosellum* (Gorham)ダングラサビカッコウ(=ダングラカッコウムシ) 1♂, Sekinomiya, Hyogo Pref. 17-VI-1948, M. Iga leg.の記録がある。

4. 柴内俊次・中畔史雄(1950)神戸虫便り。札幌昆虫同好会々報2(1) : 3-15。

氷ノ山産の以下の種の記録がある。ミヤマホソハナカミキリ、フタオビミドリカミキリ(=フタオビミドリトラカミキリ)。

5. 伊賀正汎(1950)日本産ノコヒゲカツコムシ属に就いて。昆虫学評論5(1) : 31-34。

Teneroides maculicollis (Lewis) ルイスノコヒゲカツコムシ=キムネツツカッコウムシについて、以下の記録がある。氷ノ山, 1♀, 28-VI-1942, 西村登採集; 香住, 4♂3♀, 15~20-VI-1946, 中川俊夫採集。

6. 野村鎮(1952)日本及びその近傍のコフキコガネに就て。桐朋学報(2) : 24-34。

コフキコガネの産地として、氷ノ山が示されている。

7. 岩田久二男・奥谷禎一・永富昭・中根猛彦(1953)氷ノ山の昆虫。兵庫生物2(3) : 121-125。

甲虫類に関しては中根猛彦が担当しており、9種に

ついでに解説と、95種の目録が示されている。

8. 村山醸造 (1953) 松類穿孔虫防除に関する研究。文部省科学試験場研究報告6: 1-112.

養父郡大屋町建屋村の調査地域で採集した昆虫の目録があり、46種が記録されている(ハムシ科2種、カミキリムシ科7種、クワガタムシ科1種、コガネムシ科6種などを含む)。キクイムシ科は14種記録されており、タキノヤキクイムシ *Xylebonus takinoyensis* Murayama の新種記載がある。

9. Ohbayashi, K. (1954) Five new species of Lycidae from Japan (Coleoptera). *Mushi* 26(6): 19-22.

氷ノ山産で *Cladophorus incompositus* Ohbayashi が記載されている(1♂, Hyonoson, Hyogo Pref. 30-VII-1952, T. Nakane leg. in coll. Nakane)。現在は *Cautires geometricus* (Kiesenwetten, 1874), ミダレクロベニボタルのシノニムにされている。

10. 奥谷禎一 (1954) 但馬扇ノ山の昆虫。兵庫生物2(4/5): 206.

カミキリについてルリボシカミキリ他4種の解説がある。

11. 山本義丸 (1954) 氷ノ山の昆虫。Natura (兵庫県立柏原高等学校生物研究会会誌) (11): 7-9.

48種の甲虫のリストがある。

12. 谷口行弘 (1954) 氷ノ山紀行, *Natura*(11): 26-28.

13. 高橋寿郎 (1954) 兵庫県産糞虫類に就いて(第1報), 兵庫生物2(4/5): 232-236.

但馬産ダイコクコガネ亜科の9種を記録。

14. Chûjô, M. & Nakane T. (1955) Description of a new Mordellid-Beetle from Japan, *Studies on the Mordellid-beetles* (V). *Akitu*4(2): 27-29.

氷ノ山からの *Hoshihananomia kurosai* Chûjô et Nakane ウスキボシハナノミの新種記載がある。Holotype: 1♂, Mt. Hyonoson, Mikata-gun, Hyogo Pref. 18-VII-1940, K. Kurosa leg. Allotopotype: 1♀, Mt. Hyonoson, Mikata-gun, Hyogo Pref. 31-VII-1952, T. Nakane leg.

15. Nakane, T. & Hisamatsu, S. (1955) A new species of the Genus *Cyllodes* Erichson from Japan (Coleoptera: Nitidulidae). *Akitu*4(3): 55-56.

Cyllodes punctidorsum Nakane et Hisamatsu ヨツボシアカマルケシキスイの記載の中に、allotopotypeとして氷ノ山産の1♀がある(18-VII-1940, Kurosa leg.)。

16. 奥谷禎一 (1955) 但馬(兵庫県北部)の好採集地。新昆虫8(5): 16-20.

17. 近畿甲虫同好会編 (1955) 原色日本昆虫図鑑, 甲

虫編。

18. 近畿甲虫同好会編 (1955) 原色日本昆虫図鑑, 甲虫編。増補改訂版274pp. 68col. pl. (保育社, 大阪)

この図鑑の中で、氷ノ山産の甲虫12種がカラーで図示されている。

19. 京都昆虫同好会 (1956) 昆虫採集地案内, 近畿地方。A5, 56pp. (京都昆虫同好会, 西京大学内・京都)

扇ノ山, 氷ノ山が紹介されている。

20. 中根猛彦 (1956) 日本の甲虫 [31] ながはなのみ科。新昆虫9(2): 51-55.

P.54において, *Epilichas monticola* Nakane クロツヤヒゲナガハナノミ, 氷ノ山 (1♂, 30-VII-1952, Nakane leg., 中根, 1953) が記録されている。

21. 高橋匡 (1956) 但馬でイッシキキモンカミキリを採集。新昆虫9(10): 51.

養父郡八鹿町日畑 (1ex., 23-VI-1956) の記録。

22. 高橋寿郎 (1956) きれいな甲虫, 兵庫県生物学会誌A5, 95pp. (ref. pp.58-61) (兵庫県生物学会編・神戸新聞社刊)

ミヤマナカボソタマムシ(氷ノ山), トゲヒラタハナムグリ(氷ノ山), ムネホシシロカミキリ(氷ノ山), ルリボシカミキリ(氷ノ山), フタオビミドリトラカミキリ(氷ノ山), イッシキキモンカミキリ(八鹿町)の記録がある。

23. 高橋寿郎 (1956) 兵庫県産金亀子虫雑記。兵庫生物3(3): 119-120.

リュイスマグソコガネ (=コブスジマグソコガネ) (氷ノ山), ツヤスジコガネ(氷ノ山), ムラサキツヤハナムグリ(温泉町湯村)の記録あり。

24. 高橋寿郎 (1957) 中胸に3肢を有するゴマダラカミキリ。採集と飼育19(5): 156.

養父郡氷ノ山産の材料による記録。

25. 大槻孝司 (1957) 氷の山採集記。Natura(14): 38-41.

26. 大槻孝司 (1957) 氷ノ山妙見山の昆虫。Natura(14): 41-45.

27. 藤村俊彦 (1957) 邦産ヤツボシハナカミキリの変異について。新昆虫10(3): 12-21.

養父郡八鹿町産の標本もふくまれている。

28. 高橋寿郎 (1958) セスジクビボソハムシ氷ノ山に産す。昆虫学評論9(1): 14.

29. 野村鎮 (1958) 日本及びその近傍のハナノミ属に就いて。桐朋学報(7): 35-38.

氷ノ山から, *Mordella* (s. str.) *truncatopera* Nomura

- キレバネクロハナノミ (2♂♂1♀, 20-VII-1940, K. Kurosa leg., p.8-10) および, *M. (s. str.) oxyptera* Nomuraトガリバクロハナノミ (2♂, 20-VII-1940, K. Kurosa leg., p.10) の記録がある。
30. 高橋寿郎 (1958) 兵庫県産テントウムシ類. 兵庫生物3(4): 258-264.
但馬産のものは14種記録している。
31. 安達鉄美 (1958) 氷ノ山採集記. *Natura*(15): 12-17.
32. 氷ノ山調査団 (1958) 氷ノ山の昆虫及び植物. *Natura*(15): 17-19.
33. 高橋匡 (1958) 但馬採集地めぐり (1). *Natura* (15): 81-83.
城崎郡香住町奥佐津の三川山を紹介。
34. 高橋寿郎 (1959) 兵庫県のコガネムシ類. 兵庫生物3(5): 365-375.
氷ノ山産26種のコガネムシ類の記録を含む。
35. Kurosawa, Y. (1959) A Revision of the Leaf-minig Buprestid Beetles from Japan and Loo-Choo Islands. *Bull. Nat. Sci. Mus. (Tokyo)* No.43: 202-268.
P.213-214において, *Trachys saundersi* Lewisソウンダースチピタムシ (氷ノ山, K. Sakaguchi leg.) の記録あり。
36. 高橋匡 (1959) 氷ノ山の甲虫. *Natura*(16): 24-42.
37. 村上雅昭 (1959) 蘇武・澁川・妙見の昆虫. *Natura*(16): 50-54.
38. 大久保順夫・広瀬邦久 (1959) 氷ノ山採集記. *Natura*(16): 50-54.
39. 高橋匡 (1959) 但馬採集地めぐり (2). *Natura* (16): 100-105.
扇ノ山の案内があり, クワガタムシ, カミキリムシ, ハムシの和名による具体的な記録を含む。
40. 京浜昆虫同好会 (1959) 日本産カミキリ類の生態と採集法一覧. 新しい昆虫採集 (下), pp.361-460. 内田老鶴圃, 東京.
P.400クリストフコトラカミキリ, p.407クビアカトラカミキリの2種に, 香住の記録がある。
41. 中根猛彦 (1959) 邦産コメツキムシ科に関する覚書 (I). あきつ8(4): 91-94.
P.94において, *Metaricus viridis crebnepunctatus* Nakane (オオミドリヒメコメツキ) の新亜種を記載. Paratypesの中に, Hataganaru (美方郡温泉町畑ヶ平) 産がある。
42. 安木五夫・奥谷禎一 (1960) 中国山脈の雄・氷ノ山. 兵庫の自然: 133-135 (のじぎく文庫).
- クワガタムシ・カミキリムシについて若干の説明がある。
43. 奥谷禎一 (1960) 兵庫の北海道・畑ヶ平高原. 兵庫の自然: 151 (のじぎく文庫).
ルリボシカミキリ, キオビナガクチキ, ムツモンナガクチキ, ヒイロホソナガクチキ, クロアカハネムシ, ヒメオオクワガタの記録がある。
44. 山本義丸 (1960) 県下の昆虫. 兵庫の自然: 166 (のじぎく文庫).
氷ノ山, 扇ノ山の甲虫としてヒイロホソナガクチキムシ, フタオビミドリトラカミキリ, イッシキキモンカミキリなど, また三川山のミツギリゾウムシなどの記録がある。
45. 高橋寿郎 (1960) 兵庫県産タマムシ類. 兵庫生物4(1): 20-23.
但馬産として11種記録。
46. 加辺正明 (1960) 日本産キクイムシ類の加害樹種と分布. B5, 176pp. (前橋営林局).
桑山博士が1953年に記録したものがそのまま記録されている。
47. 西村登 (1960) 但馬円山川昆虫誌 (上). 関宮町教育研修会刊, B5, 54pp.
甲虫類について種名が出てくる。
48. 湯浅浩史 (1960) 扇ノ山の昆虫相. 兵庫農大生物研究部部誌(1): 9-12.
概説であるが, 多くの種について和名による産出状況の説明がある。
49. 鈴木清明 (1960) 扇ノ山のゾウムシ類. 兵庫農大生物研究部部誌(1): 18-20.
30種が記録されている。
50. 辻啓介 (1960) 扇ノ山の“はなのみ” Mordellidae について. 兵庫農大生物研究部部誌(1): 20-22.
7種について解説されている。
51. 多田泊二・辻啓介 (1960) 扇ノ山のカミキリムシについて. 兵庫農大生物研究部部誌(1): 23-27.
52種を記録している。
52. 湯浅浩史 (1960) 扇ノ山のコガネムシ (第一報). 兵庫農大生物研究部部誌(1): 29-36.
35種が記録されている。
53. 大槻典男 (1960) 扇ノ山採集記. *Natura*(17): 29-33.
扇ノ山の採集記の中で, コガネムシ, カミキリムシ, ハムシ等が和名で記録されている。
54. 村上雅昭 (1960) 扇ノ山の甲虫. *Natura*(17): 33-35.

- 1959年7月26日～30日の間の甲虫の採集リストである。
55. 高橋匡 (1960) 但馬採集地めぐり (2). *Natura* (17): 106-107.
 養父郡八鹿町妙見山 (1142m) の解説。カミキリムシ、ハムシ等が若干種、和名で紹介されている。
56. 藤田国男 (1961) 天牛2種の新産地。昆虫学評論13(2): 68.
 クロオオハナカミキリを氷ノ山から記録。
57. 西村登 (1961) 氷ノ山山麓の滝の動物相。兵庫生物4(2): 79-81.
 甲虫1種の報告がある。
58. 高橋寿郎 (1961) 兵庫県のカミキリムシ (第1報)。兵庫生物4(2): 88-96.
 但馬産としては49種を記録。
59. 高橋寿郎 (1961) 兵庫県産テントウムシ類 (第2報)。兵庫生物4(2): 108-109.
 但馬産は2種を記録。
60. 湯浅浩史 (1961) 扇ノ山のコガネムシ類 (第2報)。兵庫農大生物研究部誌(2): 54-56.
 9種1変種を記録している。
61. 辻啓介 (1961) 扇ノ山のカミキリムシ (第2報)。兵庫農大生物研究部誌(2): 56-62.
 第1報の訂正並びに53種の追加記録。
62. 辻啓介 (1961) ハネビロハナカミキリとヨツスジハナカミキリの雑交観察について。兵庫農大生物研究部誌(2): 65-66.
 扇ノ山で観察。
63. 足立勲 (1961) 扇ノ山採集記。 *Natura*(18): 29-35.
 末尾に、和名のみではあるが採集リストが示されている。32科104種を記録している。
64. 中条道夫・高橋寿郎 (1961) 兵庫県産ゾウムシ類。 *Mikado*1(2): 17-26. 但馬産のゾウムシ38種を記録。
65. 大倉正文 (1962) チュウジョウアオアトキリゴムシ本州に産す。昆虫学評論14(2): 34.
 氷ノ山からの記録。
66. 川津智足 (1962) コジュウジアトキリゴムシの採集記録。昆虫学評論14(2): 47.
 養父郡鉢伏山からの記録。
67. 高橋寿郎 (1962) 兵庫県のカミキリモドキ科。兵庫生物4(3/4): 175-176.
 氷ノ山より10種記録。
68. 山本茂信 (1962) 妙見山資料館奉納妙見山昆虫採集目録。
 甲虫目20科73種の記録あり。
69. Nakane, T. (1963) New or little known Coleoptera from Japan and its adjacent regions, XIX. *Frag. Coleop. Pars.* 6/7: 26-30.
 Pp.26-27の *Platydemus kurama* Nakane マルツヤキノコゴムシダマシに、氷ノ山の記録 (1♀, 29-VIII-1952, Nakane leg.) が出てくる。
70. Nakane, T. (1963) New or little known Coleoptera from Japan and its adjacent regions, XXII. *Frag. Coleop. Pars.* 10/11: 42-46.
 P.42の *Epilichas monticola brunneipennis* Nakane クロツヤヒゲナガハナノミの paratype に氷ノ山産 (1♂, 30-VII-1952, T. Nakane leg.) がある。
71. 岸井尚 (1963) 高橋寿郎氏蒐集の兵庫県産叩頭虫類。あきつ11(1): 9-13.
 氷ノ山産13種、扇ノ山産3種の記録がある。
72. Miyatake, M. (1963) Description of two new species of the Genus *Serangium* from JAPAN (Coleoptera: Coccinellidae). *Trans Shikoku Ent. Soc.* 8(1): 13-14.
 Pp.13-14の *Serangium punctum* Miyatake ツグロツヤテントウの paratype に、扇ノ山産の♀ (11-VI-1961, K. Tsuji leg., in coll. T. Shibata) がある。
73. 湯浅浩史 (1963) 扇ノ山産のコガネムシ類 (第3報)。兵庫農大生物研究部誌(3): 20-23.
 9種が記録されている。
74. 辻啓介 (1963) 但馬扇ノ山甲虫目録 (1)。兵庫農大生物研究部誌(3): 24-47.
 48科294種を記録すると同時に、中根猛彦博士が同地で採集された13科28種も記録されている。
75. 岸田剛士 (1963) 扇ノ山の歩行虫 (I)。兵庫農大生物研究部誌(3): 48-50.
 31種を記録している。
76. 高橋匡 (1963) 出石郡昆虫目録 (第1報)。 *VITA* (兵庫県立出石高等学校科学部生物班会誌) (1): 1-34.
 51科401種が記録されている。
77. 妙見山資料館 (1963) 妙見山生物資料館報 (第2号)。B5, 22pp.
 甲虫目は6科20種が記録されている。
78. 林匡夫 (1963) 日本及びその近隣の天牛類の研究 (14)。昆虫学評論15(2): 56-58.
 P.56に、 *Prionus sejunctus* Hayashi ニセノコギリカミキリが美方郡浜坂に産する記録がある。
79. Kurosawa, Y. (1963) Buprestid-fauna of Eastern Asia (5) (Coleoptera). *Bull. Nat. Sci. Mus. (Tokyo)* 6(2): 90-111.

- 表題のごとく東部アジアのタマムシのうち、日本産のもの多くの新種の記載である。その中でp.107-108に記載された*Agrilus kawarai* Y. Kurosawaホソクロナガタマムシの検視標本中に、花野満男氏が養父郡大屋町西谷で採集された1♂(16-VII-1941)が含まれている。
80. 高橋寿郎(1964)兵庫県産軟鞘類。兵庫生物4(5): 232-233。
 ペニボタル科(扇ノ山2種, 氷ノ山7種), ホタル科(扇ノ山1種, 氷ノ山2種), ジョウカイボン科(氷ノ山1種)の記録。
81. 高橋寿郎(1964)兵庫県のカミキリムシ類(第2報)兵庫生物4(5): 248-253。
 氷ノ山産35種, 扇ノ山産55種のほか, 八鹿町産1種, 温泉町湯村産1種の記録がある。
82. 辻啓介(1964)扇ノ山甲虫目録(II)。兵庫農大生物研究部部誌(4): 15-19。
 12科28種を記録している。
83. 湯浅浩史(1964)扇ノ山産のコガネムシ類(第4報)。兵庫農大生物研究部部誌(4): 20。
 2種を記録。
84. 妙見山資料館(1964)妙見山資料館報(第3号)。B5, 18pp.
85. 高橋匡(1965)出石郡昆虫目録(第2報)。VITA(2): 1-16。
 甲虫類は18科51種記録されている。
86. 高橋寿郎(1965)兵庫県のクワガタムシ。兵庫生物5(1): 38-46。
 但馬産は9種を記録。
87. Nakane, T. (1966) New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions, XXIV. Frag. Coleop. Pars. 16/17: 64-69。
 P.67に, *Eपुरaea densepunctata* Nakane et Hisamatsu セグロヒラタケシキスイの温泉町畑ヶ平からの記録がある。
88. 高橋寿郎(1966)氷ノ山の甲虫相。兵庫生物5(2): 161-164。
 氷ノ山の甲虫相の概説のほか, 科ごとに具体的な種名を挙げながら解説している。
89. 奥谷禎一(1966)氷ノ山。兵庫の自然pp.150-152。新書版(六月社, 大阪)。
90. 奥谷禎一(1966)兵庫の北海道・畑ヶ平高原。兵庫の自然pp.176。新書版(六月社, 大阪)。
91. 高橋匡(1966)扇ノ山の昆虫(特に甲虫について)。Natura(23): 14。
92. 兵庫県むしの会(1966)兵庫県におけるゲンジボタルの分布(第1報)。兵庫県むしの会会報(2): 1-3。
93. 山口福男(1966)ゲンジボタルの発生状況の中間報告。兵庫県植物防疫情報(1): 3-4。
94. 高橋寿郎(1967)兵庫県のコガネムシ。兵庫生物5(3/4): 252-259。
 但馬産についてはクワガタムシ科3種, コブスジコガネ科1種, センチコガネ科2種, コガネムシ科10種を記録。
95. 高橋寿郎(1967)兵庫県のハムシ(1)。兵庫生物5(3/4): 260-266。
 県下におけるハムシの研究史と但馬産のハムシ3種の記録。
96. 兵庫県むしの会(奥谷禎一)(1967)。兵庫県下のゲンジボタルの現況と問題点。昆虫と自然2(3): 31-33。
97. 日本自然保護協会(1967)氷ノ山・後山・那岐山 国定公園候補地学術調査報告。日本自然保護協会調査報告第32号, B5, 204pp.
98. Nomura, S. (1967) Some New and Remarkable Species of the Coleoptera from Japan and its Adjacent Regions, II. Entom. Rev. Japan 19(2): 52-62, pl.7, 8。
 Pp.57-59に, *Tomonis similis* Nomuraフタモンハナノミの扇ノ山の記録(1♂1♀, 16~19-VII & 8-VIII-1961, K. Tsuji leg.)を含む。
99. Habu, A. (1967) Fauna Japonica: Carabidae Truncatipennis Group (Insecta: Coleoptera). B5, 338p. 27pls.
 P.179-180に, *Lebis (Poecilothais) iolanthe* Bates コジユウジアトキリゴミムシの鉢伏山の記録がある。
100. 大阪自然研究会, 氷ノ山・鉢伏山の自然研究。大阪市立自然科学博物館刊, 文庫版34p。
 甲虫類については筆者が“兵庫生物”に発表したものを引用している。
101. 辻啓介(1968)兵庫県における甲虫の分布(第1報)。兵庫生物5(5): 402-404。
 ハナノミ科(扇ノ山10種), カミキリムシ科(氷ノ山産12種, 扇ノ山産5種)の記録。
102. 高橋寿郎(1968)兵庫県のハムシ(II)。兵庫生物5(5): 405-414。
 但馬産は35種を記録。
103. 春沢圭太郎(1968)兵庫県城崎郡三川山の糞虫類。MDK NEWS20(1): 33。
 4種が記録されている。
104. 春沢圭太郎(1968)兵庫県におけるエゾマダラ

- コガネの新産地. 昆虫と自然3(3): 19.
 城崎郡香住町畑における記録.
105. Yajima, T. & T. Nakane (1969) On the Species of the Genus *Athemus* Lewis in Japan, with Description of a Few New Forms (Insecta, Coleoptera, Cantharidae). Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo 12(2): 183-189.
 P.188で, *Athemus infusatus* Yajima et Nakaneを温泉町畑ヶ平産の標本 (Holotype, 1♂, 26-V-1955, T. Nakane leg.) に基づいて記載している (この種はその後, 佐藤正孝博士 (1985) によって *A. attristatus* (Kiesenwetter) クロジョウカイの亜種として扱われている).
106. Kurosawa, Y. (1969) A Revision of the Genus *Platycerus* Geoffroy in Japan (Coleoptera, Lucanidae). Bull. Nat. Sci. Mus. 12(3): 475-484, pl.1.
 従来のルリクワガタの中に新種と思われるコルリクワガタが含まれていたとして新しく記載した. 但馬産の記録が次のとおりある. *Platycerus delicatulus* Lewis ルリクワガタ: 氷ノ山, *Platycerus acticolis* Y. Kurosawaコルリクワガタ: 氷ノ山, 扇ノ山.
107. Nakane, T. (1969) Fauna Japonica, Lycidae (Insecta: Coleoptera). B5, 224pp. & col. pl.
 但馬産について次の記録がある.
 ベニボタル (Mt. Hyonosen), アカゲハナボタル (Sekinomiya, Kumatsugi), ヒメボタル (Mt. Oginosen), カクムネベニボタル (Mt. Hyonosen, Hataganaru), カタアカベニボタル (Kumatsugi), ニセクロベニボタル *Cautires hyonosen* Nakane, 1969 (新種, Mt. Hyonosen).
108. 奥谷禎一 (1969) 水中に光る毛虫〜ホタルの話. 続・兵庫の自然 p.29-32 (のじぎく文庫).
109. 小島圭三・林匠夫 (1969) 原色日本昆虫生態図鑑 I. カミキリ編. 302pp. 56col.pls. (保育社).
 次の2種において, 氷ノ山産の個体が図示されている. ヒメコブヤハズカミキリ: pl.35, f.7, p.113 (氷ノ山, VII-1957). アサカミキリ: pl.50, f.4, p.158 (氷ノ山, VII-1945).
110. 辻啓介・畑中熙 (1970) クビアカドウガネハナカミキリ兵庫県大屋町明延に産す. 昆虫と自然5(4): 31.
111. 高橋寿郎 (1970) 兵庫県のハムシ (IV). 兵庫生物6(2): 143-147.
 ヒゲナガハムシ亜科44種を記録, そのうち但馬産は28種.
112. 辻啓介 (1970) 兵庫県における甲虫の分布 (第2報). 兵庫生物6(2): 159-160.
 但馬産のタマムシを13種記録.
113. 辻啓介 (1971) 生木に集まるヒメオオクワガタ. 月刊むし(8): 33.
 扇ノ山における観察.
114. 辻啓介 (1971) 兵庫県氷ノ山のカミキリ. 月刊むし(8): 76.
 兵庫県初記録3種 (フタコブルリハナカミキリ, ガロアケシカミキリ, ムネモンヤツボシカミキリ) の記録.
115. Sasaji, H. (1971) Fauna Japonica, Coccinellidae (Insecta: Coleoptera). 340pp. 16col. plates.
 日本産テントウムシ科の総説である. この中に氷ノ山産の記録が以下のようにある. *Scymnus (Pullus) doocratomoides* Weise ツマアカヒメテントウ (pp.155-156), *S. (P.) rectoides* Sasaji ニセツマアカヒメテントウ (pp.156-158), *S. (P.) ruficeps* (Ohta) ナガヒメテントウ (pp.161-162).
116. 木元新作・日浦勇 (1971) 大阪市立自然科学博物館に所蔵されるハムシ類標本 (第3報). 大阪市立自然科学博物館研究報告(25): 1-26.
 次の但馬産ハムシの記録がある. *Ziphanginia miyatakei* Kimoto ミヤタケミトビハムシ (p.5・p.24): 養父郡関宮町福定〜氷ノ山で宮武頼夫氏が採集した3頭の標本 (9-VIII-1967) を holotype, paratopotypesとして記載したもの. *Cryptocephalus kiyosatonus* Kimoto モモグロチビツツハムシ (p.10): 養父郡関宮町福定〜氷ノ山 (2exs., 9-VIII-1967, Miyatake leg.), 兵庫県未記録種. *Monolepta tsushmanum* Kimoto ツシマアシナガハムシ (p.17): 養父郡関宮町大久保 (3exs., 11-VIII-1967, Miyatake leg.), ここでは本州ならびに兵庫県未記録種として記録されたが, *Monolepta nojiriensis* Nakane ヒメウスイロアシナガハムシのシノニムである.
117. 佐々治寛之 (1971) 兵庫県氷ノ山のナガクチキムシ科採集記録. 生物研究(15): 79.
118. 辻啓介 (1972) 兵庫県のカミキリムシ. 月刊むし(10): 16-22.
 兵庫県を地域で分け, それぞれのカミキリムシ相を述べている. 但馬地域については, 氷ノ山・扇ノ山のカミキリムシ相の解説のほか, それ以外の部分でも3種の記録がある.
119. 辻啓介 (1972) ミツオホシハナノミ本州に産す. 月刊むし(10): 36.
 養父郡鉢伏山 (1♀, 19-VII-1971). その後の辻氏

からの私信によると、本個体は*Hoshihananomia pirika* Konoオオシラホシハナノミと同定すべきものであるとのことである。

120. 井上健 (1972) ミヤマダイコクコガネの糞中よりツヤケシマグソコガネを多数とる。昆虫と自然7(2) : 33.

朝来郡生野町での記録であるが、ミヤマダイコクコガネは同定間違いではないかと考えられる。

121. 高橋寿郎 (1972) 兵庫県 of ハムシ (V) . 兵庫生物6(3) : 238-243.

ノミハムシ亜科をまとめ、但馬産は24種を記録。

122. 辻啓介 (1972) 兵庫県からのクロホシタマムシ。兵庫生物6(3) : 243.

城崎郡香住町 (1♂, 20-VI-1946) .

123. 辻啓介 (1972) 兵庫県からの新しい甲虫 (その1) . 兵庫生物6(3) : 243.

Serangium punctum Miyatake, 1963ズグロツヤテントウ (テントウムシ科) の、扇ノ山 (1♀, 11-VI-1961) での記録。

124. 辻啓介 (1972) 兵庫県氷ノ山のカミキリムシ。兵庫生物6(3) : 244-249.

121種を記録。

125. 辻啓介 (1972) 兵庫県からの新しい甲虫, その2, 3 兵庫生物6(3) : 252.

フタモンハナノミの扇ノ山からの記録および、コリクワガタの扇ノ山, 氷ノ山からの記録。

126. 奥谷禎一 (1972) 扇ノ山付近の昆虫相について。扇ノ山周辺の自然保護pp.5-6.

127. 高橋匡 (1972) 扇ノ山の昆虫相—自然保護の立場から—。扇ノ山周辺の自然保護pp.9-10. 扇ノ山周辺の自然を守る会発行, B5, 108pp.

126-127は、扇ノ山周辺の自然を守る会の刊行物として、兵庫県生物学会のメンバーが主体となって扇ノ山に関する様々な論文を集めたもので、編者は山本茂信・細見滝造両氏である。全部で108pp.に及び、写真・地図も含まれている。昆虫に関しては上記2論文があり、共に概説であるが、甲虫類の和名による紹介もある。

128. 奥谷禎一 (1972) 扇ノ山および霧ヶ滝の昆虫相。扇ノ山周辺の動物 (I) , pp.9-11. 兵庫県自然保護協会調査資料, 第1集, B5, 48pp.

概説で、甲虫についても若干触れられている。

129. 辻啓介・岸田剛二 (1972) 但馬扇ノ山の甲虫目録。扇ノ山周辺の動物 (I) pp.20-48. 兵庫県自然保護協会調査資料, 第1集.

本文で65科662種、追加として18科33種を記録。

130. 野村鎮 (1972) 日本産ヒゲナガピロウドコガネに就て。桐朋学報(22) : 109-137, pl.1-3.

氷ノ山よりクロホシピロウドコガネ, ヒゲナガピロウドコガネ, ヤマトピロウドコガネ, ホソヒゲナガピロウドコガネ, モモケピロウドコガネの5種を記録している。

131. 石田正明 (1972) 日本産コガネムシ属について。月刊むし(21) : 7-10.

ヒメスジコガネの氷ノ山における記録がある。

132. 辻啓介 (1972) 氷ノ山の甲虫数種について。きべりはむし1(1/2) : 26.

6種を記録し、そのうちミドリカメノコハムシ, セスジカメノコハムシは兵庫県初記録である。

133. 辻啓介・遊磨正秀・畑中熙・森脇久芳 (1972) 1972年度カミキリムシ採集記録。きべりはむし1(1/2) : 27-39.

108種が記録されており、兵庫県未記録の7種を含む。

134. 辻啓介 (1972) スネケブカヒロコバネカミキリ余部に産す。きべりはむし1(1/2) : 39.

135. 西村登 (1972) 岸田川上流の水生昆虫。扇ノ山周辺の自然保護 : 31-37.

甲虫ではヒラタドROMシが記録されている。

136. 畑中熙 (1973) 兵庫県でのカミキリ4種類の採集例。月刊むし(24) : 53.

養父郡大屋町におけるヒラヤマコブハナカミキリの記録がある。

137. 辻啓介・畑中熙 (1973) 兵庫県未記録のタマムシ4種。きべりはむし2(1) : 9.

氷ノ山よりネムノキナガタマムシ, ヤノナミガタチビタマムシを記録。

138. 森田真澄 (1973) 生野でラミーカミキリを採集。きべりはむし2(1) : 28.

139. 兵庫県自然保護協会調査部 (1973) 兵庫県下のホタルの現況。兵庫の自然3(1) : 2-8.

140. 高橋寿郎 (1973) 兵庫県のハムシ (IV) . 兵庫生物6(4) : 296-298.

トゲハムシ, カメノコハムシ亜科を扱い、但馬産は7種を記録。

141. 黒沢良彦 (1974) 日本産タマムシ科概説 (12) . 甲虫ニュース(12) : 1-4.

ホソクロナガタマムシの、養父郡大屋町西谷での記録。

142. 大平廣士・三木岳春 (1974) 兵庫県氷ノ山カミ

- キリ3種の採集例。昆虫と自然9(5):7。
 フタコブルリハナカミキリ, ムネマダラトラカミキリ, ヤマトキモンハナカミキリの記録。
143. 大倉幸彦・遊磨正秀 (1974) 氷ノ山および赤西における天牛採集記録。きべりはむし3(1):7-9。
 氷ノ山産を14種記録している。
144. 大倉幸彦 (1974) 三川山麓に於けるヨコヤマトラカミキリの記録。きべりはむし3(1):11。
 三川山小城越(標高500m)における採集例(1ex., 8-VI-1974)。
145. 遊磨正秀 (1974) 氷ノ山における天牛の記録。きべりはむし3(1):13。
 2種を記録。
146. 奥谷禎一 (1974) 中国山地東端の昆虫相。東中国山地自然環境調査報告pp.173-233。国定公園3県協議会刊。
 甲虫類はオサムシ科を石田裕, カミキリムシ科を大倉幸彦・遊磨正秀, ソウムシ科を畑中熙, その他を高橋寿郎・辻啓介がそれぞれ担当している。主として氷ノ山, 扇ノ山産のものである。70科713種が記録されている。
147. 高橋匡 (1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第1・2報)。兵庫県立豊岡高等学校生物教室刊, B5, 66pp。
 但馬地域で採集された標本の目録で, 甲虫類は62科626種が記録されている。
148. 畑中熙 (1975) 兵庫県産ゾウムシ類の記録(1)。きべりはむし3(2):2-9。
 ヒゲナガゾウムシ科およびオトシブミ科について, 氷ノ山, 扇ノ山から37種を記録している。
149. 畑中熙 (1975) 兵庫県産ゾウムシ類の記録(2)。きべりはむし4(1/2):8-15。
 ゾウムシ科について, 氷ノ山, 扇ノ山から32種を記録。
150. 辻啓介 (1975) 兵庫県産オトシブミの産地追記。きべりはむし4(1/2):44-45。
 氷ノ山・扇ノ山産の8種を記録している。
151. 高橋匡 (1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第3報)。
 兵庫県立豊岡高等学校生物教室刊, B5, 24pp。
 前報への追加種126種(今回新たに増えた6科を含む)の記録で, すべて但馬産である。
152. 石飛敦郎 (1975) ダイコクの挽歌。昆虫と自然10(14):19。
 朝来郡生野牧場におけるダイコクコガネについて述べている。
153. 中根猛彦 (1975) 九州(屋久島・種子島を含む)に分布する異節群甲虫について。国立科学博物館専報(8):161-172, pl.16。
 P.166の*Holostrophus morimotoi* Sasajiの項で, 扇ノ山産の標本を記録している。
154. 西村登, 原昌久, 西村好治郎, 中村宏義, 井上弁三 (1975)
 兵庫県円山川水底生物調査報告書。近畿地方建設局豊岡工事事務所刊, B5, 114pp。
 円山川水系で採集できる甲虫4種(ヒラタドロムシ, マスダチビドロムシ, 残り2種は種名不明)の記録。
155. Kurosawa, Y. (1976) Notes on the Oriental Species of Coleoptera Family Buprestidae (II). Bull. Nat. Sci. Mus. Ser. A (Zool.)2(2):129-136。
 Pp.134-136に*Agrius rokuyai* Y. Kurosawaの新種記載がある。Holotypeとparatypesは3♂で, 養父郡大屋町筏において森本桂博士が採集したものである(17-VI-1951)。
156. 大野正男 (1976) オオシロオビゾウムシ。昆虫と自然11(11):15-18。
 城崎郡日高町金山(高橋, 1955)の記録がふくまれる。
157. 黒沢良彦 (1976) 日本産タマムシ科概説(19)。甲虫ニュース(36):1-7。
 辻氏が1970年に*Agrius japonicus* Kerremansトガリカラカネナガタマムシとして発表した種は, *A. rokuyai* Y. Kurosawaとして記載された種(*A. tibialis* Lewisのシノニムとなる)に該当することが紹介されている。
158. 高橋匡 (1976) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第4報)。兵庫県立豊岡高等学校生物教室刊, B5, 20p。
 甲虫類は42科138種が記録されている。
159. 磯野昌弘 (1977) ヤノトラカミキリの分布。昆虫と自然12(1):13。
 美方郡浜坂(VIII-1974)における採集記録。
160. 高橋寿郎 (1977) ダイコクコガネは何処へ行く。兵庫生物7(3):127。
 ハチ高原の記録がある。
161. 高橋寿郎 (1977) コヒゲシマビロウドコガネ大屋町田淵山に産す。きべりはむし5(1/2):14。
162. 畑中熙 (1977) 兵庫県産ゾウムシ類の記録(3)。きべりはむし5(1/2):21-31。
 氷ノ山・扇ノ山における, ゾウムシ科37種, オサゾウムシ科1種の記録。
163. 的場績 (1977) オカダノコギリゾウムシ氷ノ山に産

す。きべりはむし5(1/2) : 31.

164. 高橋匡 (1977) 「但馬むしの会」発足に寄せて。IRATSUME(1) : 7-12.

糸井 (和田山町) でのキベリハムシの記録あり。

165. *磯野昌弘 (1977) 浜坂産甲虫相の基礎研究。Acuteatus (兵庫県立浜坂高等学校生物部誌) (10) : 32-45.

166. 磯野昌弘 (1978) オオシロオビゾウムシの採集例。昆虫と自然13(1) : 8.

美方郡浜坂町での採集記録。

167. 高桑正敏 (1978) 日本産ハナノミ族の種別分布資料 (1) . 甲虫ニュース(40) : 12.

オオシラホシハナノミの養父郡鉢伏山における記録。

168. 高橋匡 (1978) 但馬地方の昆虫相に関する文献及び資料。IRATSUME(2) : 2-10.

169. 大野正男 (1978) ハラビロハネカクシ。昆虫と自然13(11) : 29-32.

ハラビロハネカクシを兵庫県の記録として筆者の記録が引用されており、それらの標本は次のとおりである。養父郡氷ノ山 (5exs., 27-VII-1956, T. Takahashi leg., Sawada K. det.; 1ex., 15-IX-1973, K. Tsuji leg., Y. Watanabe det. 標本はそれぞれ同定者の手許に保管されている) .

170. 的場績 (1978) 遠山雅夫氏採集の氷ノ山及び扇ノ山産ヒゲナガゾウムシ目録。きべりはむし6(1/2) : 20-22.

14種を記録。

171. 遠山雅夫 (1978) 兵庫県産タマムシの記録 (I) . きべりはむし6(1/2) : 22-23.

クロホシタマムシ (扇ノ山) , トガリカラカネナガタマムシ (扇ノ山) の記録。

172. 高橋匡 (1978) 豊岡高等学校昆虫標本目録 (第5報) .

兵庫県立豊岡高等学校生物教室刊, B5, 14pp.

甲虫目52種の記録がある。

173. 高橋寿郎 (1979) 兵庫県におけるオサムシの分布 (1) . 兵庫生物(5) : 247-248.

クロカタビロオサムシ, エゾカタビロオサムシ, セアカオサムシ, オオオサムシの, 但馬の記録が含まれる。

174. 磯野昌弘 (1979) ジュウシホシクビナガハムシ日本海沿岸に産す。昆虫と自然14(4) : 35.

175. 高橋匡 (1979) 但馬地方の昆虫相に関する文献資料 (補遺1) . IRATSUME(3) : 6-7.

176. 高橋寿郎 (1979) 但馬地域のオサムシ。

IRATSUME(3) : 33-36.

但馬地域に産する10種のオサムシの分布記録。

177. 高橋寿郎 (1979) 兵庫県におけるラミーカミキリの分布。きべりはむし7(1) : 8-12.

178. 小倉滋 (1979) オオシロカミキリ浜坂町に産す。きべりはむし7(1) : 20.

179. 近畿オサムシ研究グループ (1979) 近畿地方のオサムシ。大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第11集, B5, 83pp.

オサムシ各種の但馬における記録が多く含まれている。

180. 藤本清・山口福男 (1979) クリ園における空中散布が昆虫相に及ぼす影響, ナミテントウ各種アブラムシ類に対する捕食性と薬剤感受性。日本応用動物昆虫学会中国支部会報(21) : 29-36.

研究材料の一部に, 美方郡温泉町にて採集したものが含まれる。

181. 中村覚 (1979) 氷ノ山・鉢伏山の歴史。自刊, B5, 47pp.

「氷ノ山と鉢伏山の生物」という項目でヒメボタルが出てくる。

182. 小林桂助 (1979) ルリヒラタムシをハチ北高原にて採集。きべりはむし7(2) : 28-29.

183. 高倉康男 (1979) 城崎郡産甲虫採集の記録。きべりはむし7(2) : 29.

184. 山地治 (1979) 食痕2題。月刊むし(106) : 8.

養父郡関宮町福定で撮影した, イッシキキモンカミキリの食痕の写真。

185. 穂積俊文 (1979) 都道府県別カミキリ目録要覧。昆虫と自然14(2) : 6-15.

但馬産カミキリ目録を記録している文献が示されている。

186. 穂積俊文 (1979) ラミーカミキリの分布。月刊むし(103) : 3-10.

但馬における分布について, 文献から引用されている。

187. 穂積俊文 (1979) 天牛分布あれこれ。昆虫と自然14(4) : 2-9.

ヤノトラカミキリ (氷ノ山, 扇ノ山, 浜坂) , キジマトラカミキリ (扇ノ山) , キバネアラゲカミキリ (氷ノ山) , クロオビトゲムネカミキリ (氷ノ山) の記録がある。

188. Akiyama, K. & S. Ohmomo (1979) Notes on Japanese Buprestidae (I). Sci. Rep. Yokosuka City Mus. (26) : 67-71.

- アムールムツボシタマムシの扇ノ山の記録あり。
189. *磯野昌弘 (1979) 兵庫県浜坂産ゾウムシ仮目録. INSECT (岐阜大学生物科学研究会昆虫班誌) 4(1): 13-18.
190. 高橋寿郎 (1980) 兵庫県におけるオサムシの分布 (2). 兵庫生物8(1): 37-39.
- マヤサンオサムシ, ヤコンオサムシ, アキオサムシ但馬の分布記録あり。
191. 高橋寿郎 (1980) 県下の注目すべき甲虫. 鳥と自然(16): 8-14.
- ルリクワガタ, コルリクワガタ (氷ノ山, 扇ノ山), ムネホシシロカミキリ (氷ノ山山麓) の記録がある。
192. 高橋寿郎 (1980) 兵庫県におけるマダラテントウ類の分布について. きべりはむし8(1): 9-11.
- トホシテントウ (氷ノ山, 扇ノ山, 豊岡市), ニジュウヤホシテントウ (出石, 鉢伏山, 扇ノ山), オオニジュウヤホシテントウ (氷ノ山, 湯村, 扇ノ山, 出石) の3種の但馬からの記録がある。
193. 入江幸吉・吉武明 (1980) キバネアラゲカミキリ熊本県御船町に多産. 北九州の昆虫26(3): 79-80.
- Amarube (香住町余部) 産の引用がある。
194. 環境庁 (1980) 日本の重要な昆虫類, 近畿版. B5, 624pp.
- 但馬地方に分布している甲虫21種の記録が含まれている。
195. 高橋匡 (1980) 但馬地方昆虫目録. IRATSUME (4): 13-27.
- 但馬地方のカミキリムシ7亜科200種が記録されている。
196. 高橋匡 (1980) 但馬地方昆虫目録 (予報第4報). IRATSUME(4): 28-41.
- 但馬産ハムシ科11亜科182種が記録されている。
197. 高橋寿郎 (1980) 「但馬地域のオサムシ」補遺. IRATSUME(4): 42.
198. 秋山黄洋 (1980) メスグロコメツキダマシ兵庫県の記録. 月刊むし(115): 39.
- 養父郡関宮町福定 (1♀, 25-VII-1973, 遊磨正秀採集) の記録。
199. 岸井尚 (1960) 日本産シモフリコメツキ属の研究 (2). Bull. Heian High School (24): 1-9, pl.1-7.
- オオシモフリコメツキの, 但馬からの記録がある。
200. 高橋寿郎 (1980) ヒゲコガネとシロスジコガネ. きべりはむし8(2): 8-17.
- ヒゲコガネ (出石郡神美村)・シロスジコガネ (豊岡市大岡山, 美方郡浜坂, 扇ノ山) の記録がある。
201. 磯野昌弘 (1980) キイロナガツツハムシの分布. 昆虫と自然12(14): 16.
- 美方郡浜坂町の記録がある。
202. 高橋寿郎 (1980) 兵庫における *Olenecamptus* 属カミキリムシ3種の分布について. てんとうむし(6): 1-4.
- ムネホシシロカミキリ (出石郡出石町, 養父郡福定, 氷ノ山), オオシロカミキリ (美方郡浜坂町) の記録。
203. 黒田収 (1980) アカジマトラカミキリ (*Anaglyptus bellus* Matsushita et Matsumura) 多数採集す. てんとうむし(6): 24.
- 氷ノ山横行登山口 (30♂♀, 5-X-1980) における記録。
204. 三宅義一 (1980) コブヤハズカミキリ類の分化と分布. 北九州の昆虫27(2): 61-84, pl.5, 6.
- ダイセンコブヤハズカミキリの扇ノ山, 畑ヶ平, 氷ノ山における記録がある。
205. Stebnicka, Z. (1980) Scarabaeidea (Coleoptera) of the Democratic People's Republic of Korea, Acta Zool. Cracov. 24(5): 191-298, 232text figs.
- 以下の種の産地として, Hyonosenが挙げられている. ただしこれらは日本の文献からの引用である. *Serica boops* Waterhouse (p.252), *Mimela splendens* (Gyllenhal) (p.254).
206. 阪口浩平 (1981) 図説 世界の昆虫5, ユーラシア編. A4, 264pp. (保育社, 大阪).
- 扇ノ山産のアカイロニセハムシハナカミキリ♂が図示されている (pl.23, f.38).
207. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県におけるオサムシの分布 (3). 兵庫生物8(2): 110-112.
- 但馬地域におけるクロナガオサムシ, オオクロナガオサムシ, マイマイカブリの3種の記録。
208. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県のナガツツハムシ. きべりはむし9(1): 6-9.
- 但馬産は4種を記録。
209. 高橋寿郎 (1981) 県下2種のコメツキムシの分布. きべりはむし9(1): 22-23.
- ウバタマコメツキ, フタモンウバタマコメツキの但馬からの記録がある。
210. 高橋寿郎 (1981) 県下2種のタマムシの分布. きべりはむし9(1): 23.
211. 内藤親彦 (1981) フタスジカタピロハナカミキリ扇ノ山麓で採集. きべりはむし9(1): 28.
212. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県甲虫相資料・91. きべりはむし9(1): 32-34.

- ジュウシチホシハナムグリ, ルリヒラタムシの但馬における記録がある。
213. 西村登 (1981) 兵庫県円山川水系八木川の底性動物. 関宮町史資料集第3巻: 272-332.
若干の甲虫類の記録がみられる。
214. 穂積俊文 (1981) 天牛分布あれこれII. 昆虫と自然16(10): 8-11.
スネケブカヒロコバネカミキリ (兵庫), イボタサビカミキリ (美方郡浜坂町) の記録があるが, いずれも文献からの引用である。
215. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県のコガネムシ. 鳥と自然22): 9-14.
但馬に産するコヒゲシマビロウドコガネ, オオチャイロハナムグリ, トラハナムグリ, オオトラフコガネ, ジュウシチホシハナムグリ, オオヒラタハナムグリの記録がある。
216. 安達留二郎 (1981) ウルシ老木に産卵中のイッシキキモンカミキリ. 月刊むし(127): 1&表紙.
美方郡扇ノ山において1979年9月2日に撮影された本種の美しい写真が, カラーで表紙に使われている。
217. 磯野昌弘 (1981) 但馬地方西部のカミキリムシ. IRATSUME(5): 28-35.
81種のカミキリムシを記録。
218. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県のアカハネムシ. IRATSUME(5): 36-39.
但馬からは9種を記録。
219. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県のシデムシ・チビシデムシ. IRATSUME(5): 40-45.
但馬から11種を記録している。
220. 高橋匡 (1981) 但馬地方昆虫目録 (予報第5報). IRATSUME(5): 46-58.
マメゾウムシ科3種, ヒゲナガゾウムシ科21種, オトシブミ科43種, ミツギリゾウムシ科2種, ホソクチゾウムシ科5種, ゾウムシ科133種, オサゾウムシ科7種の記録。
221. 高橋匡 (1981) 但馬地方昆虫目録 (予報第6報). IRATSUME(5): 59-67.
クワガタムシ科14種, センチコガネ科3種, コブスジコガネ科1種, コガネムシ科105種の記録。
222. 佐藤邦夫 (1981) 兵庫県香住町でヤノトラカミキリを採集. 月刊むし(128): 35.
223. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県甲虫相資料・96. きべりはむし9(2): 27-31.
マヤサンコブヤハズカミキリ, ヒメコブヤハズカミキリ, ダイセンコブヤハズカミキリの但馬での分布に言及している。
224. 永井正身 (1981) 朝来郡朝来町奥多々良木ダム・黒川ダム動物相. 調査報告書 (昆虫類). 環境科学(株) 刊 (大阪), A4, 8p.
甲虫類8科13種の記録。
225. 野淵輝 (1981) イチゴのクラウンとクリの実を加害するクリノミキクイムシ. 日本応用動物昆虫学会誌25(4): 294-296.
日本から初めて記録されるクリノミキクイムシ *Poecilips cardamoni* (Schaufuss) の採集記録の中に, 但馬産のもの (8♀♀, Kazumicho, Shiroasaki (Kinosaki), Hyogo, 1973. ex. chestnut, M. Yamashita leg.) が含まれている。
226. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県のクビナガハムシ. てんとうむし(7): 106-110.
但馬産は13種を記録。
227. 高橋寿郎 (1981) 兵庫県のトラハナムグリとヒラタハナムグリ. てんとうむし(7): 121-125.
但馬に分布する8種の記録。
228. 市橋甫・生川展行 (1981) 三重県のルリクワガタ属について. ひらくら25(5): 89-92.
ルリクワガタの氷ノ山 (兵庫県) からの記録がある。
229. Makino, T. & T. Nakane (1981) A Revision of the genus *Podabrus* Westwood in Japan (I) (Insecta, Coleoptera, Cantharidae). Rep. Fac. Sci. Kagoshima Univ., (14): 55-63.
日本産クビボソジョウカイ属の分類学的研究論文の第1報である。この中にクビボソジョウカイの温泉町畑ヶ平からの記録がある (pp.58-59)。
230. 澤田佳久 (1982) 甲虫2種の新産地. 昆虫と自然17(4): 35.
養父郡関宮町から *Xylinada striatifrons* Jordan ナガフトヒゲナガゾウムシを記録している (1♀, 8-VIII-1981)。
231. 高橋寿郎 (1983) 兵庫県のツチハンミョウ. Parnassius(26): 3-6.
但馬に分布する3種を記録。
232. 高橋寿郎 (1982) 兵庫県のテントウダマシ. きべりはむし10(1): 11-20.
但馬産は7種を記録している。
233. 高橋寿郎 (1982) 兵庫県産 *Cryptocephalus* 属ハムシ4種の分布について. きべりはむし10(1): 29-34.
但馬からは3種を記録している。
234. 谷素彦 (1982) 但馬地方のフン虫-1981年の調査から. IRATSUME(6): 30-35.

- 17種の糞虫の記録。
 235. 加野正 (1982) 但馬におけるカミキリムシ採集
 目録. IRATSUME(6) : 36-41.
 カミキリムシ4亜科45種の記録。
 236. 高橋寿郎 (1982) 兵庫県のカッコウムシ。
 IRATSUME(6) : 42-45.
 但馬から7種を記録している。
 237. 高橋寿郎 (1982) 兵庫県のトゲハムシ・カメノ
 コハムシ. IRATSUME(6) : 46-56.
 但馬産の2科16種を記録。
 238. 高橋匡 (1982) 但馬地方昆虫目録 (予報第1
 報). IRATSUME(6) : 57-76.
 12科302種が記録されている。
 239. 木下賢司 (1982) 自宅付近の灯火で採集した昆
 虫あれこれ. IRATSUME(6) : 77-79.
 豊岡市栄町での調査結果であり, 甲虫は11科65種が
 和名のみで記録されている。
 240. 馬場金太郎・岸井尚 (1982) 対馬産の若干のコ

- メツキムシについて. 越佐昆虫同好会会報(58) : 41-44.
 氷ノ山産のチャバネツヤハダコメツキと, 対馬産と
 の間には差異があり, 再検討が必要とある。
 241. 高橋寿郎 (1982) 兵庫県のジョウカイモドキ。
 きべりはむし10(2) : 18-22.
 但馬産6種を記録している。
 242. 日浦勇 (1982) 1982年同定会で見た昆虫 (2) .
 Nature Study28(12) : 140.
 セアカオサムシの関宮町福定における記録が見られ
 る。
 243. Sasaji, H. (1982) Additions to the Japanese fauna of
 the coccinellid tribe Symnini (Coleoptera). Spec. Iss.
 Mem. Retir. Emer. Prof. M. Chûjô, 1982: 63-72.
Scymnus (Pullus) chujoi Sasaji なる新種記載があり
 (pp.69-72), paratypesの中に但馬産の個体 (lex.,
 Hyonoson, Hyogo Pref. 18-VII-1967, H. Sasaji leg., lex.,
 Hyonoson, 26~30-VII-1967, H. Sasaji leg.) がある。

《 IRATSUME の原稿募集 》

IRATSUME 24号 (2000年5月発行予定) の原稿を募集します。

フィールドノートや標本箱に眠ったままになっている記録、

今シーズンの最新成果などを、どんどんお寄せください。

各昆虫のデータのまとめや生態観察記はもちろん、採集記や短報も歓迎します。

また、思い出の虫や懐かしの採集地、今後の抱負といったような内容でも結構ですから、

ぜひご投稿ください。バラエティーに富んだ誌面にしたいと思います。

原稿執筆に際しては、必ず投稿規定をお読みください。

なお、別刷は有料で、50部単位で作成できます。

希望者は、投稿時に部数とあわせてご連絡ください。

原稿の締切は、2000年2月末です。

送付先・問合せ先は、〒567-0872 茨木市新中条町5-36-102, 谷角素彦まで。